

令和4年度舟着茶話会



テーマ 「大丈夫!?舟着の未来 ～ 今、本当に必要なことは何? ～」

1部：講演「消滅可能性都市について」 2部：グループワーク

令和5年1月29日(日)開催
会場：舟着小学校体育館

参加者 関係者
51名 + 12名

舟着地域においても少子高齢化により人口が減少する中、舟着に住んでいる人が安心して暮らし続けるため、世代を超えて舟着が続くためにはどうするかを地域の皆さんで話し合いました。

グループワークまとめ

グループワークテーマ「舟着が消滅しないために今、必要なことは何?」

〔誘客・魅力発信〕

現状

・地域の歴史や自然、行事などの魅力がPRできていない。

現状に対する対策

- ・松山峠越えなどをPRして、山ガールなどの興味がある人に来てもらう。
- ・歴史、自然などで誘客して地域の良さを知ってもらい移住に繋げる。
- ・農作物収穫体験やキャンプ場で自然の中での遊び体験をしてもらう。

〔農業〕

現状

- ・農業の儲けが少なく、後継者不足がある。
- ・夏場の草刈りが負担である。

現状に対する対策

- ・農作物をインターネット販売するためのウェブページ作成費の補助や農業機械をレンタルできる制度を作る。
- ・農業女子を増やし、遊休農地で作った野菜をJAなどの移動販売で売る。

〔地域のつながり〕

現状

- ・地域住民全体が参加するイベントがない。
- ・地域住民が集まれる場所がない。

現状に対する対策

- ・地域の人が集まれる機会を作り、様々な人が集まれるように内容を分けてイベントを開催していく。
- ・子どもから大人まで様々な年齢の人が集まれる場所を作る。
- ・コミュニケーションを取れる機会を作るため、茶話会を定期的に開催する。

人口減少・少子化対策・移住定住促進

現状

- ・若い女性が少なく、独身男性が多い。
- ・大家族主義が受け入れられなくなっている。
- ・若者が進学・就職・結婚などで、外の地域へ出て行ってしまふ。

現状に対する意見

- ・こども園や学童保育があり、のどかで子育てがしやすい、高速道路ICが近い、車があれば買い物など不便ではないことなどの住みやすさをPRする。
- ・舟コン（婚活イベント）を復活して結婚で舟着に来てもらう。
- ・定年後に地元へ帰って来てもらえるような働きかけをする。
- ・親との同居世帯に補助金等の優遇する制度を作る。
- ・企業の社宅を作ることを条件にして優遇する制度を作る。（自動車税や燃料費の補助など）

〔空き家・空き地・農地〕

現状

- ・放置されている空き家や遠方から戻って年数回手入れするだけの空き家がある。
- ・農地や山林の土地の管理に困っており、手放したいが手放せない。

現状に対する対策

- ・地域外からの移住者へ空き家等を紹介する制度を作る。
- ・市役所で亡くなられた方の親族へ空き家の売却・貸出についてのチラシを配布する。
- ・移住者特権で農地を宅地に変えられる制度を特区として設ける。
- ・地域に住んでいなくても耕作したい人へ農地を貸したり売却できるようにする。

〔交通手段〕

現状

- ・公共交通機関（Sバス）での市街地へのアクセスが悪く、タクシーでは高額のため不便である。

現状に対する対策

- ・市街地への送迎バス等で高齢者の買い物や通院、子どもが遊びに出かけられる交通手段を考える。

〔商業施設の誘致〕

現状

- ・地域内にコンビニ等の商業施設がなく不便である。

現状に対する対策

- ・日用品が買えたり、子どもが駄菓子を買いに集まれるお店（コンビニ等）やコインランドリー、飲食店を誘致する。
- ・移動販売で駄菓子の販売があれば子ども達で賑わうと思う。

〔地域活動（お役）の負担軽減〕

現状

- ・消防団や婦人部をお役と感じて負担となっている。
- ・市からの回覧文書だけでも組ごとの仕分けや回覧が負担となっている。

現状に対する対策

- ・消防団や婦人部などを交流の場としての恩恵をもっと広報して魅力にしていく。
- ・回覧板をやめて、舟着地域全戸へタブレット機器を配布して電子回覧板にする。
（目的：お役の負担軽減、回覧板不要、独居高齢者の安否確認）